Camera Report

# 「いいいろ塗装の日」に奉仕活動

日本涂装工業会広島県支部が奉仕活動・11/16

11月16日を"いいいろ"と読ませる語呂合わせから、「いいいろ塗装の日」として、日本塗装工業会広島県支部北部地区による奉仕活動が行われました。

この活動は、広島県支部に加入している市内の塗装業者が、市の公共施設などをボランティアで塗装しているもので、本年は、子育て支援施設「東城こどもの館」の鉄棒や門壁、館内の内壁の塗り替えが行われました。

きれいになった施設で、子どもたちは元気に遊び、 気持ちよく過ごしています。



▲東城こどもの館の内壁を塗装する会員の皆さん

# 地元食材を使って簡単料理

比和そばでガレット作り・12/5

比和中1年生10人が、比和産のそば粉を使ったガレット作りを行いました。ガレットとは、そば粉で作るクレープのようなもので、近年健康志向の食として注目度が高まっている料理の一つです。

まず初めに、そば処みのりの丸電実開さんが、実際に 調理する姿を見せながら作り方を指導しました。生徒 たちは、火加減や生地の厚さなど、特に注意すべきポイントを教わった後、それぞれ調理を開始。そばの生地が 焼けた香ばしい匂いが部屋中に広がり、「おいしそうな 匂い、早く食べたい」と言いながら、楽しそうに作って いました。

ガレットを食べた生徒たちは、「家でも簡単にできる ので、ぜひまた作りたい」と話していました。



▲ガレットの形を整えて最後の仕上げ

#### できることは自分たちで

ピザづくりに挑戦・11/7

No.5

総領保育所の年長組園児が、総領町の和田芳浴さん 宅でピザ作りに挑戦しました。園児たちは、和田さん から作り方を教わり、生地づくりからトッピングまで の工程を、自分たちで行いました。

生地発酵の待ち時間には、和田さんの案内で、地域にある市指定天然記念物の樹木などを見学し、紅葉する山々を散策しながら、自然を満喫しました。

発酵したピザ生地は、和田さんが石釜で焼き上げ、 みんなでおいしく食べました。

園児たちは「生地をこねたり、伸ばしたりするのが 難しかったけど、楽しかった」と話していました。



▲自分たちでトッピング

## 音楽で地域がつながる

第8回タモリミュージックコンサート・12/16 No.7

東城町の田森自治振興センターで、「音楽の輪を広げよう」をテーマに「第8回タモリミュージックコンサート」が開催されました。

本年度も市内の高校生や若者を中心とした 12 組のバンドと、ゲストの常井あゆみさんが出演し、次々に演奏を披露しました。演奏の合間には来場者を含め、デュエットカラオケ大会も行われました。また、地域の方が協力し、大判焼きやカレーなどのバザーを行い、ライブに食事と、会場全体でイベントを楽しみました。

副実行委員長の引曲義道さんは「多くの方の協力でとても良いイベントになった。今後も続けていけるようにみんなで頑張りたい」と話していました。



▲バンドの熱演に会場が沸いた

#### 自信作を販売

した。

小学校児童がりんごと大根販売体験・11/29

No.2

高野小4・5年生が「ふるさと体験学習」の一環と いまり して、育てたりんごと大根を道の駅たかので販売しま 「狼

児童たちが事前にポスターを作りPRを行ったことや、元気な声で来訪者に呼び掛けをしたことで、当日は販売開始と同時に長い行列ができ、約40分でりんご約300キロ、大根約200本が完売しました。

農家作業と販売を体験したや市莉音さんと長谷川 七虹さんは「販売できるまで育てるのは思った以上に 難しい作業が多く、農家の人はとても大変だと思った。 販売の時は声を張ってお客さんへの呼び掛けを頑張った」と話していました。



▲販売の様子

No.4

## 節目でにぎやかに開催!!

第 40 回記念くちわ芸能祭・11/25

庄原市文化協会口和支部主催の第40回くちわ文化祭「芸能祭」が口和自治振興センターで開催されました。20団体が出演し、ダンスや日本舞踊などに加えて、ギターや琴などの楽器の演奏など多種多彩な内容でした。

本年は40回目の節目を迎え、10月には記念事業として書道や絵画などの作品展も行われました。また、前夜祭「くちわミュージックナイト」も行われ、口和自治振興区青年部がギターの演奏やダンスなどを披露しました。

今回は、40年を記念して、くちわ文化祭のキャラクターが募集され、40通余りの応募作品の中から、和牛がちくわの腹巻きをしたデザインの「ちくわうしくん」が選ばれました。



▲参加者は演奏やダンスを楽しんだ

# のろしでつなぐ 地域をつなぐ

第 11 同「狛価」 面租プロジェカト・11/23

No.1

庄原市のろしプロジェクト実行委員会による「狼煙」再現プロジェクトが行われ、10の自治振興区が参加しました。

このプロジェクトは、自治振興区がのろしのリレーを行うことで、人と人、地域と地域の絆づくりを探求するとともに、歴史を学び、地域を見直すことを目的としています。

当日は、庄原市役所本庁舎前の市民ひろばで伝令飛脚の出発式が行われた後、口和自治振興区を皮切りに、山内自治振興区までのろしがつながっていきました。のろしにあわせ各自治振興区によるイベントが開催され、プロジェクトを盛り上げました。



▲プロジェクトに参加した各自治振興区の皆さん

## 運転再開を前に清掃

わせて実施されました。

JR 備後落合駅清掃活動・12/16

西城町にあるJR備後落合駅で、市内外の鉄道ファンや地元住民たち約20人が集まり清掃活動が行われました。今回の活動は平成30年7月豪雨の被害により運転を見合わせていたJR芸備線備後落合駅から備後

参加者たちは、駅前広場の側溝にたまった土の除去 の他、待合室のドアや窓の拭き掃除、トイレの清掃など を行いました。

庄原駅の区間が12月20日に運転を再開することにあ

今回この活動の窓口となり参加を呼びかけたフリーライターのやまもとのりこさんは「遠くから大勢の方に来ていただいてうれしい。ピカピカになった駅にいっぱいの人が来て欲しい」と話していました。



▲待合室を清掃している様子